

生活者ができる地球温暖化防止の現場から

カーシェアリングの推進で 地球温暖化防止を図る

・ナビゲーター
㈱マツダレンタカー
代表取締役社長 上西清志

株式会社マツダレンタカー(カーシェアリング)



大阪市平野町にあるステーション。神戸市三宮で開設したステーションに続いて開設された、近畿圏では2カ所目のステーションだ

自動車利用の無駄を省く試み

自分で自動車を持たず、あらかじめ登録した会員同士で共同利用する「カーシェアリング」。一九八〇年代、欧米の都市部で渋滞や駐車場不足といった交通問題の解消や環境問題の改善のために始まり、今や海外では六〇〇以上の都市で一七万人以上が利用している。日本でも九〇年代末から、各地で導入のためのいろいろな実験的試みが行われてきたが、自動車に対する海外との意識の差もあり、一般的にはまだ普及しているとは言いがたいのが現状である。

しかしそうした中、㈱マツダレンタカーは二〇〇五年二月、大手レンタカー会社としては初めて広島市に無人の自動車の保管場所(ステーション)を設け、環境にやさしいレンタカー型カーシェアリング事業「カーシェア24」を開始。その後、同年十月に福岡にも開設。翌年七月に神戸、三宮、ステーションに続いて、大阪、東京、名古屋、札幌など全国の主要都市で展開を図り、二〇〇七年一〇月末現在、一八カ所で四八台(利用者人数約七〇〇人)を運営している。

「自動車の保有台数が減ることで資源を節



駐車場横にある予約用のタワー。会員は、自動車の利用時間をパソコンや携帯電話で予約する。後は基本的にタワーによる無人対応で自動車が利用できる



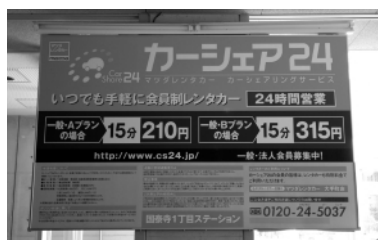
入会申込をすると、後日スタッフと対面で免許証の確認や入会説明などの登録手続きを行い、登録が済むと会員証（ICカード）が送られてくる。このICカードを使うと全国のステーションで24時間、「必要な時に、必要な分だけ」15分単位で自動車が利用できるようになる



用意されているのは、マツダの「デミオ」など環境にやさしい車両。レンタカーと違って、利用料金にはガソリン代も含まれているため、都心部では駐車料金とほぼ変わらない値段で自動車が使えるのもメリット（写真は広島市の中心にある、ビルの駐車場の一角を利用したステーション）



マツダレンタカーは「チーム・マイナス6%」にもいち早く加入しており、さまざまなイベントの場を利用してカーシェアリングの告知を行っている



「カーシェア24」のシステムでは、会員は月額料金と時間極めの利用料金を支払う。他の会員と自動車を共用するため、自動車の購入費、税金、保険料金、ガソリン代、駐車場代を負担せずに済む。使用時間が月8時間以上の場合は、月額料金が4200円、利用料金が15分あたり210円の「Aプラン」。使用時間が月8時間以下の場合は、月額料金1050円、利用料金が15分あたり315円の「Bプラン」があり、選択できるようになっている。

株式会社マツダレンタカー

【本社】
〒732-0825 広島県広島市南区金屋町2-15
【カーシェア24入会問い合わせ先】
TEL 0120-24-5037
URL <http://www.cs24.jp/>

約でき、ガソリン消費と温暖化の原因である二酸化炭素の排出も削減されます」と同社の上西清志代表取締役社長は言う。試算によると、これら二四〇台のカーシェアリングの実施によって、二酸化炭素の排出量が東京ドーム約六杯分に当たる約四千トン削減できているという。上西社長は、「弊社は全国で二万台の自動車を所有していますから、二酸化炭素の削減をするのは社会的使命だと考え、最終的には全国で二万台のカーシェアリングの普及を目指しています」と言う。

レンタカーがレジャー向けだとすれば、カーシェアリングは日常生活密着型であり、家族の送迎などセカンドカーとして、また、法人利用では顧客への訪問など短時間の利用に最適と言える。『カーシェア24』は、地域の人々にとっての「ちょっと便利な足」として、そして新しい形の自動車の利用方法として理解していただけるように、今後も普及活動に力を注いでいきます」（上西社長）。

（文責・CEL編集室）